

建物長期活用を通して
さまざまな社会問題を解決します

with ichiman sustainability.
市萬が目指す持続可能な社会



Photo

～今月の写真～

水の都、ヴェネツィア。観光地として名高いこの場所は、地球温暖化の影響で2100年までに消滅する恐れがあると言われています。遠い国の、先の話のように思われますが、今のうちから地球規模での対策が必要です。当社が推進している建物長期活用は、少なからず持続可能な社会、地球温暖化防止につながっています。 撮影:西島 昭

建物長期活用を通して さまざまな社会問題を解決します

昨年、この新年のご挨拶におきまして、来たる一年を「原点に立ちかえる価値について考え、よりいっそう邁進する年とする」ことをお約束しました。

振り返りますと、この一年は、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えたコンサルティングの在り方を確立するとともに、スタッフが自主的に手を取り、当社の存在意義について考え、形にする一年でありました。

特に「建物の長期活用」につきましましては、他社に先駆けて大きく踏み出すことができたと自負しております。

当社が建物の長期活用を推進する理由には、長期活用がオーナー様にとってメリットが大きいことはもちろん、建物を解体せずに修繕して活用していくことでCO₂は最大70%、廃棄物は最大96%削減できるという

環境面への配慮もあります。このことは、持続可能な社会を目指すSDGsの取り組みにつながっています。

当社はこれからも、不動産業界の問題解決にとどまらず、環境をはじめとする、さまざまな社会問題にも正面から向き合い、一つひとつ丁寧に解決につなげて参ります。

私たち一同、不動産業界の新しい景色を描く会社として、これまで以上に輝く一年にしていきたいと考えております。皆様のお力添えを、どうぞよろしくお願い申し上げます。



株式会社市萬
不動産経営アカデミー所長

西島 昭

with ichiman sustainability.

サステナブル
市萬が掲げる持続可能な社会とは、笑顔がずっとずっと続くまち。
不動産が抱える多様な問題を解決し、優良化する取り組みを通じて、
オーナー様だけでなく地域の皆様と、世代を超えて安心して暮らせる地域社会を実現します。



2022年、私たちは社会にどのような貢献ができるのか、考えてきました。たどり着いた答えは、不動産を優良資産にすることで「笑顔が続く、持続可能な社会」を創ることでした。そのための大きな柱が「建物長期活用」です。オーナー様の収益を上げるだけでなく、環境にも配慮した2022年の取り組みを紹介します。2023年も不動産の優良化を通じて、オーナー様や地域の皆さまが、いつまでも安心して暮らせる社会を目指します。

建物長期活用への取り組み

[2022年実績]

耐震補強

● 03 件

建物長期活用に欠かさないのが「耐震」です。4件の建物診断を行い、3件の耐震補強に着手しました。

建物大規模修繕

● 06 件

「適切な頻度で適切な修繕」が建物を長持ちさせます。建物診断で修繕が必要な箇所を特定し、大規模修繕を実施しました。

給排水管洗浄

● 10 件

排水管は人間で言えば血管のようなものです。排水管の洗浄と更新工事により、建物長期活用と入居者の安心を実現しました。

金融機関勉強会

● 08 件

建物長期活用に必要不可欠な融資に積極的に取り組んでいただけるよう、勉強会を実施しました。

小冊子発刊・動画作成

一級建築士監修の元、建物長期活用の小冊子を発刊やセミナー動画を作成。当社のノウハウを広く公開しています。

